

1 申請者の情報		申請年月日	2025年 9月 19日	
フリガナ	ハルナウィメンズクリニック	住所・所在地		〒 741-0072 岩国市平田1-28-27
医療機関の名称	はるなウィメンズクリニック	事務担当者		氏名 春名伸彦
フリガナ	イリョウホウジンハルナウィメンズクリニック			電話番号 0827-32-7007
開設者	医療法人はるなウィメンズクリニック			ファクシミリ 0827-32-8606
				電子メール

2 病床削減の概要(予定含む)

<許可病床数>

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計※2
1	①平成30年度病床機能報告における許可病床数		19				19	19
	②平成30年度報告後、令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更があった場合はその許可病床数 ※1						0	0

※1 令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更がない場合は「1②」は記載不要(令和2年4月1日時点での変更は除く)

※2 対象3区分=高度急性期、急性期、慢性期(以下同様)

<稼働病床数>

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計
2	①平成30年度病床機能報告における稼働病床数		19				19	19
	②平成30年度報告後、令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更があった場合はその稼働病床数 ※3						0	0

※3 令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更がない場合(「1②」が記載不要となる場合)は「2②」は記載不要

(令和2年4月1日時点での変更は除く)

<病床削減後の許可病床数>

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計
3	病床削減後の許可病床数		3				3	3

<他の医療機関との病床融通>

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	対象3区分の合計
4	他の医療機関との病床融通数 ※4					0

※4 病院統合や地域医療連携推進法人の病床融通制度等を活用し、他の病院等へ病床が移転しようとする場合に記載すること。

また、「(参考)病床移転にかかる概要」に関連する病院等の病床数を記載すること。

<対象3区分から回復期又は介護医療院へ転換した病床数>

		回復期	介護医療院	合計
5	削減病床のうち、回復期又は介護医療院へ転換した病床数			0

<年間で在棟患者延べ数(人)>

		高度急性期	急性期	慢性期	合計
6	①平成30年度病床機能報告における対象3区分の病棟の年間で在棟患者延べ数(人)※5		2,071		2,071
	②令和2年4月1日時点 年間で在棟患者延べ数(人) ※6・7				0

※5 対象3区分の病棟に係る平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)の(48)欄の数値を計上すること。なお、平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)において、「過去1年間の間に病棟の再編・見直しあり」と報告した病棟の年間で在棟患者延べ数については、以下の式により補正して計上すること。

○ 補正後の年間で在棟患者延べ数=年間で在棟患者延べ数((48)欄に記載された数値)×12÷報告可能な対象期間(月単位)

(注) 報告可能な対象期間(月単位)は、平成30年度病床機能報告で報告した月数とすること。

例) 報告可能な対象期間を「平成29年7月1日～平成29年12月末日」とした場合 ⇒ 報告可能な対象期間(月単位)=6

※6 令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更がない場合(「1②」が記載不要となる場合)は「6②」は記載不要

(令和2年4月1日時点での変更は除く)

※7 令和元年度病床機能報告後、令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更がない場合は令和元年度病床機能報告の数値を計上すること。

変更がある場合は、変更後令和2年4月1日までの在棟患者延べ数を※5を参考に算定して計上すること。

3 病棟別内訳(予定含む)

【変更前の状況(R2.4.1まで)】

変更前	病棟別内訳 (病床機能報告から転記)	病棟の名称	算定する入院基本料 ・特定入院料	病床機能	許可病床数	稼働病床数
		一般病棟	有床診療所入院基本料1	急性期	19床	19床
		②				
		③				
		計			19床	19床

※ 平成30年度の病床機能報告を転記することを原則とするが、平成30年度の報告後、令和2年4月1日までに機能別の病床数等に変更がある場合は変更後の病床数等を記載すること。



【令和6年度】

R6 年度	病棟別内訳	病棟の名称	算定する入院基本料 ・特定入院料	病床機能	許可病床数	変更(予定)時期 ※変更がある場合
		一般病棟	有床診療所入院基本料1	急性期	19床	R8年 3月
		②				年 月
		③				年 月
		計			19床	



【令和7年度以降】(変更がない場合や計画が未定の場合は、「以後変更なし」「未定」等と記載のこと)

R7 年度	病棟別内訳	病棟の名称	算定する入院基本料 ・特定入院料	病床機能	許可病床数	変更(予定)時期 ※変更がある場合
		一般病棟	有床診療所入院基本料1	急性期	19床	R8年 3月
		②				年 月
		③				年 月
		計			19床	

R8 年度	病棟別内訳	一般病棟	有床診療所入院基本料2	急性期	3床	R8年 3月
		②				年 月
		③				年 月
		計			3床	

※病棟別内訳の数が不足する場合は適宜追加すること。

※計画完了時には「休棟等」がすべて削除され、存在しない状態となっていること。

4 添付書類

- 変更後の2025プラン(今回変更協議を行う場合は協議予定の資料)
- 病床削減が地域医療構想の実現に資するものであるとの説明資料
- その他必要と考えられる資料

1 地域の状況	
地域の現状と課題	出生数の減少は全国的におきているが、岩国市においても顕著な変化として認められる。平成30年の出生数は849であったが、令和7年では657となっている。周産期医療(特に分娩)を支える施設の減少も顕著で、今や分娩施設は医療センターと当院だけである。無痛分娩の希望、小児科併設などの希望から、医療センターや岩国圏外の施設での分娩も増えている。分娩施設の集約化が進む一方、通院や外来での待ち時間など不便を感じる住民もいる。
2 自施設の状況	
自施設の現状 (変更前)	分娩を取り扱う入院施設として活動してきたが、分娩数の減少、スタッフ確保の困難から、安定的な施設運営は厳しく、無痛分娩、小児科併設などの要求に応えられない状態である。
病床数の見直し	見直しの考え方 周産期医療施設の集約化が必要と考えられ、当院は分娩取扱はやめる。病院外来の診察緩和のために、一定期間の妊婦健診の補助や婦人科検診など分娩に直接係らない部分で地域貢献を目指す予定である。初期の流産の処置、母体保護法による中絶に対応するため3床は確保する。
	対象の病棟・病床の概要 急性期病床19床から3床に削減。初期流産の処置、母体保護法による中絶に対応する。
	入院患者への対応 分娩予定日が令和8年3月上旬までの予定者は受け入れるが、それ以降の予定者は分娩取扱停止を説明し、かかるべき時期に転院を勧める。それまでは、転院先の医療機関と協力して妊婦健診を行う予定である。
3 病床削減が地域医療構想の実現に資するものである理由	
理由	周産期医療施設の集約化は避けられない流れとなっている。稼働しない産科の急性期病床は削減は必要と考える。当院は病院産婦人科外来の混雑や通院の困難さの緩和のために、一定期間の妊婦健診や検診、診察、処置などをを行い、また病床削減で生じる余剰スタッフが地域の医療施設に動くことも考えられ、当院の病床削減は地域貢献ができると考える。

【参考】対象区分別の削減(計画)病床数

対象区分	R6	変更時期	R7	変更時期	R8	変更時期	計
高度急性期							
急性期					16	R8.3月	16
慢性期							
合計					16		16

※複数年度に渡る削減を予定している場合は各年度に削減(計画)病床数を記載

【参考:R6病床機能報告(岩国保健医療圏の状況)】

	病床区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・廃止予定	介護保険施設移行予定	合計
報告	①R6 (2024)現状	266	486	235	682	69		1,738
	②R7 (2025)予定	266	474	237	651	—	—	1,628
構想	③R7 (2025)必要数	131	419	446	505			1,501
④構想との差(R6) (①-③)	135	67	△ 211	177	69			237
⑤構想との差(R7) (②-③)	135	55	△ 209	146	—	—		127